

に足らずといふ言葉はいつでも、青年諸子の服膺すべき事であらうとおもふ。  
英才の已に頼むに足ざる事前の通りとすれば、生れの愚なる者は猶更の事、  
賢く生まれたるものとても、十分の勤勉をしなければならぬ。生れつきが皆  
一樣であるといふ事はない、人々によつて違ひがある、物事の智識は皆生れて  
から後に得るので、何人も物事の智識を以て、生れては出て来ないけれども、  
扱て生れつきが、人々に依つて違つて居る。物覚えの上手な人もあれば、下手  
な人もあり、工夫する事の上手な人もあれば、頓智の利く人もあるといふ風で  
種々の傾きが生れると共に備はつて居る。即ち人々に依つて頭の働き様違ふ  
ので、彼の人と此の人とを比べて見ると、其の間に、優劣の差がある事が甚し  
い。そこで或る人は生れが發明と云はれ、或る人は魯鈍と云はれて居るが、扱  
て併し、昔から、賢い生れであつても、勉強しなくつて成就し得たといふ人は  
ないが、小兒の時にはあまり賢く無かつたのに、勉強の結果、終に大立物にな

つたといふやうな人は非常に多い。是は誠に諸子が深く心の奥に浸み込ませて  
置くべき事で、又傳記などを讀むにつけても、深く此點に着眼して、忍耐勉強  
の効果が如何程までに表はるゝものであるかといふ事を知るがよい。大凡、大  
學者とか大事業家とか、一技術家とか云はれて、少くとも一代に名を挙げたと  
いふ程の人は、必ず、一生の経験に於て、苦い辛い経験を受けて居るのである。

修 養 鑑 終



大正三年八月三十日印刷  
大正三年九月五日發行

定價金參拾五錢

不許複製

著作者兼  
發行者

東京市神田區駿河臺袋町十六番地  
河野正義

印刷者

東京市麴町區有樂町二丁目一番地  
中村政雄

印刷所

東京市麴町區有樂町二丁目一番地  
報文社

發行所

東京市神田區駿河臺袋町(電話三〇〇二番  
本局三七〇七番)  
東京國民書院  
振替東京三〇〇九番



339  
493



終